



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東大

上場会社名 燦ホールディングス株式会社
コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古内 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日

平成24年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,400	△5.3	477	△37.2	469	△37.7	205	△41.6
24年3月期第2四半期	8,865	4.8	761	150.1	754	152.7	351	528.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 205百万円 (△41.6%) 24年3月期第2四半期 351百万円 (528.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	36.58	—
24年3月期第2四半期	62.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
25年3月期第2四半期	25,330		19,717		77.8		3,510.40	
24年3月期	26,172		19,623		75.0		3,493.82	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 19,717百万円 24年3月期 19,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,740	△3.0	1,330	△28.1	1,300	△28.7	640	△30.3	113.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	6,082,008 株	24年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	465,247 株	24年3月期	465,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,616,761 株	24年3月期2Q	5,616,788 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興関連需要等を背景として公共投資は増加を続け、個人消費も雇用環境が改善傾向にあることから底堅く推移しました。先行きについては、国内需要が底堅さを維持し、海外経済は、欧州や中国等、対外経済環境を巡る不確実性が依然として高いなかで、景気の下振れリスクは引き続き存在するものの、緩やかな景気回復へ向かうことが期待されています。

葬祭市場においては、葬儀の小型化傾向、葬儀単価の下落傾向が依然継続しています。その反面、安定的な需要が予想される葬祭業界においては、既存及び新規参入の事業者の間で、新規会館出店を伴う顧客獲得競争が一段と激しくなっております。

このような環境のもと、当第2四半期連結累計期間（以下、当期）の営業収益は84億円（前年同四半期（以下、前年同期）比5.3%減）、営業利益は4億77百万円（前年同期比37.2%減）、経常利益は4億69百万円（前年同期比37.7%減）、四半期純利益は2億5百万円（前年同期比41.6%減）と、減収減益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

公益社グループ

公益社グループの中核会社である(株)公益社では、葬儀件数が前年同期比4.5%減少しました。これを地域別にみると、関西圏で6.0%減少し、首都圏では4.6%増加しました。

一方、一般葬の葬儀単価は、関西圏で0.9%、首都圏で2.9%とともに向上し、全体で1.9%向上しました。

葬儀後のサービス事業については、前年同期比減収となりました。主な要因は香典を辞退する葬儀比率の上昇、また、葬儀の小型化による会葬者数減少の影響により返礼品販売収入が減収となったためです。

この結果、当セグメントの売上高は70億32百万円（前年同期比5.1%減）となり、セグメント利益は59百万円（前年同期比81.9%減）となりました。

葬仙グループ

葬仙グループの(株)葬仙におきましては、葬儀件数は前年同期比0.3%の微増となりましたが、葬儀単価が4.0%低下したため減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6億67百万円（前年同期比3.5%減）となり、セグメント損失は21百万円（前年同期は17百万円の損失）となりました。

タライグループ

タライグループの(株)タライにおきましては、葬儀件数は前年同期比13.5%減少となりましたが、葬儀単価は0.5%向上しました。

この結果、当セグメントの売上高は5億46百万円（前年同期比13.6%減）となり、セグメント利益は58百万円（前年同期比47.7%減）となりました。

持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス(株)におきましては、主に、グループ各社からの配当収入が増加したため、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は25億76百万円（前年同期比14.1%増）となり、セグメント利益は10億76百万円（前年同期比49.5%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、38億28百万円となり、前連結会計年度末比6億21百万円減少しました。主な要因は、税金の支払いと長期借入金の返済により現金及び預金が5億17百万円減少したためです。固定資産は215億1百万円となり、2億20百万円減少しました。主な要因は、不動産信託受益権が1億14百万円増加した一方、減価償却費の計上等により有形固定資産が2億22百万円、のれんが1億3百万円減少したためです。

この結果、総資産は253億30百万円となり、前連結会計年度末比8億42百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は24億86百万円となり、7億15百万円減少しました。主な要因は、法人税等の支払いにより未払法人税等が3億71百万円減少したほか、営業未払金が2億36百万円減少したためです。

固定負債は31億26百万円となり、2億19百万円減少しました。主な要因は、借入金の返済により長期借入金が2億86百万円減少したためです。

この結果、負債合計は、56億13百万円となり、前連結会計年度末比9億35百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、197億17百万円となり、前連結会計年度末比93百万円増加しました。この要因は、利益剰余金が四半期純利益により2億5百万円増加した一方、配当金の支払いにより1億12百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.8ポイント増の77.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年度3月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,215,061	2,697,883
営業未収入金	597,814	469,661
商品及び製品	155,053	139,705
原材料及び貯蔵品	40,695	38,957
その他	443,761	484,269
貸倒引当金	2,135	2,105
流動資産合計	4,450,250	3,828,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,430,285	7,210,248
土地	10,813,849	10,815,754
リース資産(純額)	219,183	201,604
その他(純額)	158,146	171,112
有形固定資産合計	18,621,464	18,398,719
無形固定資産		
のれん	829,851	726,171
その他	203,489	191,845
無形固定資産合計	1,033,340	918,016
投資その他の資産		
長期貸付金	519,637	501,631
不動産信託受益権	515,265	630,206
差入保証金	659,977	659,089
その他	393,096	415,181
貸倒引当金	20,717	21,089
投資その他の資産合計	2,067,259	2,185,020
固定資産合計	21,722,064	21,501,756
資産合計	26,172,314	25,330,130

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	752,850	516,399
短期借入金	6,178	54,167
1年内返済予定の長期借入金	617,000	572,000
リース債務	67,011	68,043
未払法人税等	546,316	174,583
賞与引当金	448,205	416,593
役員賞与引当金	58,660	20,150
その他	706,030	664,379
流動負債合計	3,202,252	2,486,316
固定負債		
社債	1,500,000	1,500,000
長期借入金	1,225,500	939,500
リース債務	163,302	143,953
退職給付引当金	23,284	110,265
資産除去債務	142,216	144,063
その他	291,804	288,973
固定負債合計	3,346,108	3,126,755
負債合計	6,548,361	5,613,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	12,580,326	12,673,430
自己株式	1,013,146	1,013,146
株主資本合計	19,623,953	19,717,057
純資産合計	19,623,953	19,717,057
負債純資産合計	26,172,314	25,330,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	8,865,533	8,400,053
営業費用	7,210,547	7,102,807
営業総利益	1,654,986	1,297,245
販売費及び一般管理費		
役員報酬	152,114	147,870
給料	194,036	166,380
賞与	5,316	6,216
賞与引当金繰入額	40,790	35,316
役員賞与引当金繰入額	15,450	20,150
貸倒引当金繰入額	8,647	341
のれん償却額	103,680	103,680
減価償却費	31,619	30,481
その他	341,994	308,889
販売費及び一般管理費合計	893,649	819,327
営業利益	761,337	477,917
営業外収益		
受取利息	6,833	6,470
受取配当金	6	6
助成金収入	2,119	5,000
雑収入	11,748	7,703
営業外収益合計	20,707	19,180
営業外費用		
支払利息	25,204	23,422
雑損失	2,822	4,242
営業外費用合計	28,026	27,664
経常利益	754,018	469,433
特別利益		
固定資産売却益	81	-
特別利益合計	81	-
特別損失		
固定資産除却損	9,285	196
リース解約損	890	-
特別損失合計	10,175	196
税金等調整前四半期純利益	743,923	469,237
法人税、住民税及び事業税	371,079	279,264
法人税等調整額	21,053	15,466
法人税等合計	392,132	263,798
少数株主損益調整前四半期純利益	351,791	205,439
少数株主利益	-	-
四半期純利益	351,791	205,439

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	351,791	205,439
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	351,791	205,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,791	205,439
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	743,923	469,237
減価償却費	373,429	356,833
のれん償却額	103,680	103,680
有形固定資産除却損	9,285	196
貸倒引当金の増減額(は減少)	38,476	341
賞与引当金の増減額(は減少)	4,651	31,611
役員賞与引当金の増減額(は減少)	24,750	38,510
受取利息及び受取配当金	6,840	6,476
支払利息	25,204	23,422
有形固定資産売却損益(は益)	81	-
売上債権の増減額(は増加)	117,901	128,152
たな卸資産の増減額(は増加)	3,413	17,084
仕入債務の増減額(は減少)	8,495	236,450
未払消費税等の増減額(は減少)	21,376	49,024
その他	1,721	98,743
小計	1,048,248	638,132
利息及び配当金の受取額	4,347	3,955
利息の支払額	25,367	23,717
法人税等の支払額	408,438	651,023
法人税等の還付額	11,566	7,695
営業活動によるキャッシュ・フロー	630,355	24,957
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	200	-
定期預金の払戻による収入	7,935	-
有形固定資産の取得による支出	205,832	74,769
有形固定資産の売却による収入	95	-
無形固定資産の取得による支出	25,761	8,530
貸付けによる支出	1,596	-
貸付金の回収による収入	19,196	9,283
保険積立金の解約による収入	279	525
その他の収入	2,583	17,540
その他の支出	2,910	6,616
投資活動によるキャッシュ・フロー	206,210	62,567

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	15,338	47,989
長期借入金の返済による支出	321,853	331,000
自己株式の取得による支出	24	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	31,547	34,306
配当金の支払額	112,335	112,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	450,422	429,652
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	26,277	517,177
現金及び現金同等物の期首残高	2,386,564	3,215,061
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,360,287	2,697,883

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,391,327	691,672	633,203	149,330	8,865,533	-	8,865,533
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	20,469	-	-	2,107,806	2,128,275	2,128,275	-
計	7,411,796	691,672	633,203	2,257,137	10,993,809	2,128,275	8,865,533
セグメント利益 又は損失()	331,464	17,112	111,906	719,621	1,145,879	391,861	754,018

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	288,000
のれん償却額	103,680
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	180
合計	391,861

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
記載すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,018,687	667,449	546,798	167,117	8,400,053	-	8,400,053
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	14,104	-	-	2,409,132	2,423,237	2,423,237	-
計	7,032,792	667,449	546,798	2,576,250	10,823,290	2,423,237	8,400,053
セグメント利益 又は損失()	59,846	21,219	58,542	1,076,099	1,173,268	703,835	469,433

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	600,000
のれん償却額	103,680
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	155
合計	703,835

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。